

総合資源エネルギー調査会  
第16回資源・燃料分科会資料

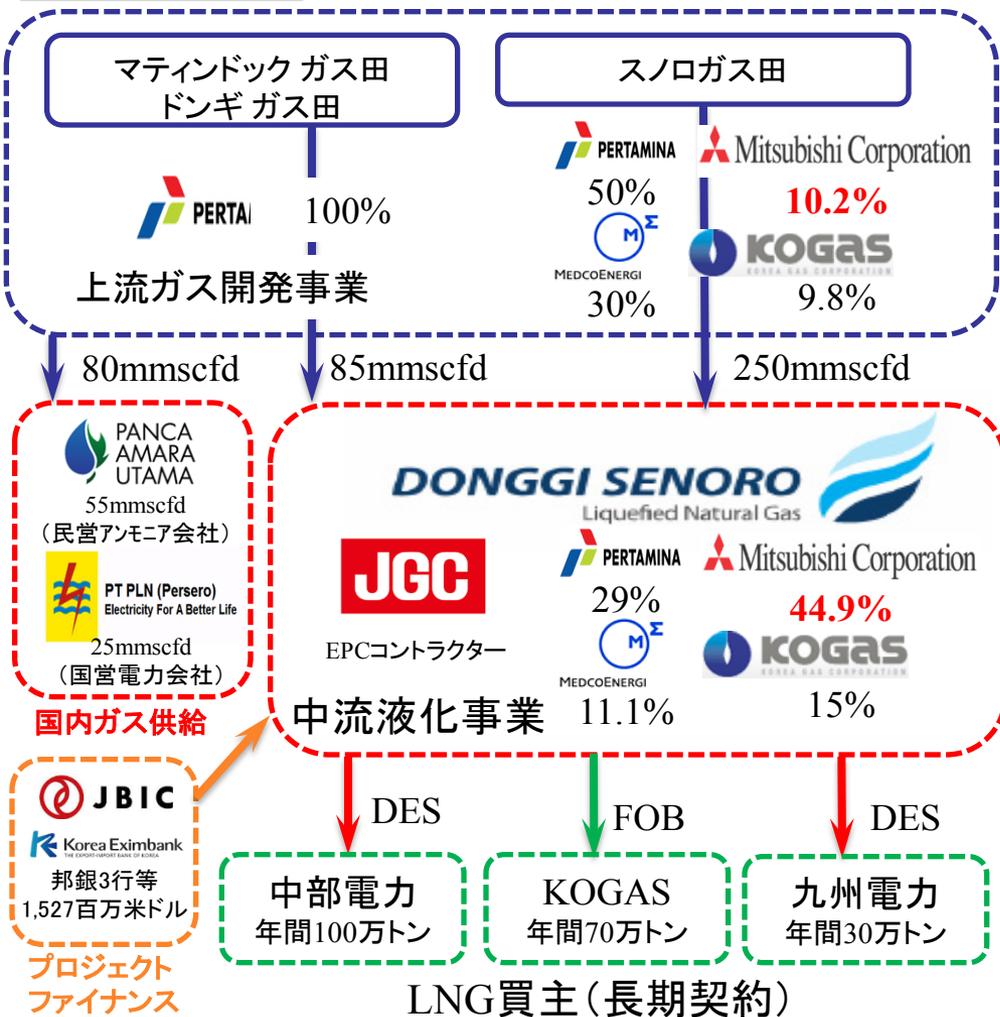
**石油・天然ガス資源確保における課題  
～インドネシア／ドンギスノロプロジェクト～**

2016年3月9日  
三菱商事株式会社

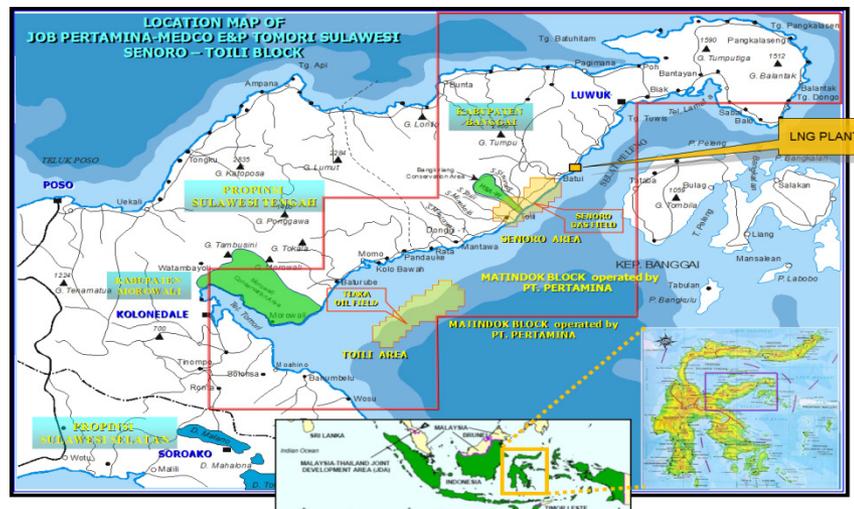
プロジェクトの特徴

- ✓ オイルメジャーの参画無しにAll Asiaのパートナーで開発・操業を行う初のLNGプロジェクト
- ✓ 弊社が初めて最大株主として主導
- ✓ JBICを主体とするプロジェクトファイナンス組成などの日本政府からのサポート

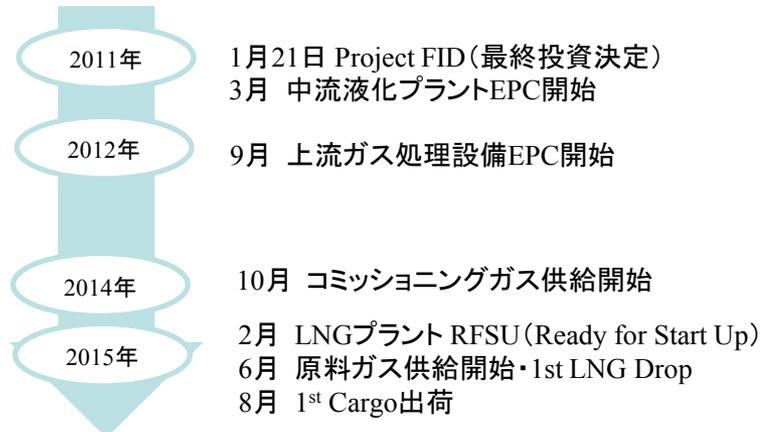
プロジェクトスキーム



プロジェクト位置関係



プロジェクトの歴史(FID以降)



- ✓ インドネシア国内のガス需要増加を背景に、DSLNGへの原料ガス供給に対する政府承認の是非について、当時の大統領選挙候補者間の論点となり政治問題化した結果、FIDが遅延。  
⇒ 日本政府関係者を通じたインドネシア政府の働きかけや、弊社他プロジェクトの国内ガス需要への貢献をアピールすることにより輸出許可を取得。
- ✓ 上流ガス田からPAU社(民営アンモニア会社)・PLN社(国営電力会社)にも原料ガスを供給予定。

2006年

DSLNGプロジェクトに弊社が参画

2007年

8月頃から原料ガス売買契約(GSA)交渉開始

2009年

2009年1月にGSA条件を合意

大統領選挙に立候補したカラ氏(当時の副大統領)が、ガスは国内に供給されるべき(国内ガス供給優先)としてLNGを全量輸出するDSLNGへのガス供給に反対したことで政治問題化  
⇒ 政治問題化したことで当時のエネ鉱省大臣がDSLNGへのガス供給承認を先送り

G20において「日本に対する継続的なLNG供給を期待する」とDSLNGプロジェクト発足をサポートする発言を麻生総理(当時)からユドヨノ大統領(当時)にして頂くなど、日本政府関係者を通じたインドネシア政府へLNG輸出承認を働きかけ

国内ガス供給案件として弊社がインドネシアで推進しているカンギアンプロジェクトの国内需要への貢献も政府に対してアピール

2010年

大統領選挙終了後、パートナーであるプルタミナ(国営石油会社)、メドコ(民営エネルギー会社)からのインドネシア政府関係者への働きかけ、日本政府関係者からの継続的なサポートが奏功し、2010年6月にDSLNGへの原料ガス供給に対する政府承認(実質的な輸出承認)を取得。

2011年1月 FID(最終投資決定)